

# 復興研究会報告

## NO.19(平成30年度 第1号)

発行  
岩手県立大槌高等学校  
復興研究会・O A部  
発行日  
平成30年5月17日

## 震災伝承活動の連携協力協定

5月15日に大槌高校は大槌町と東日本大震災からの復興の記録を後世に伝え防災教育に役立てる協定を結びました。

協定に参加した皆さんの声を紹介します。



町方地区に自宅を再建した喜び、周囲はまだ更地が多い復興格差への戸惑いなども多くの人に伝えたい。(3年男子)

町の移り変わりと、地域みんなで参加する伝統芸能・金澤神楽などの故郷の誇りを町内外の高校生に伝えたい。(3年女子)

撮影を続けた私たちの思いをキャプションに込めたい。建設関係者が苦労して進める防潮堤の改善点からも、全国に伝える震災の教訓を学べる。(2年女子)

定点観測をしていると、町が復興していく姿がはっきりわかる。成果を発表する場ができるので、いろいろな人の見てもらえたらうれしい。

(2年男子)



# 今年度第1回定点観測

5月12・13日 今年度第1回の定点観測が行われました。

参加した皆さんの声を紹介します。



防潮堤見学では防潮堤や水門の大きさに驚いた。定点観測では復興の進み具合がわかりました。これからも参加していきたい。(1年女子)



防潮堤・水門の見学では、防潮堤が釜石にはあるが大槌には無いことを知りました。復興については大きく変わったところは少なかったが、それでも進んでいると感じた。

(3年男子)

水門がどのようにして町を守るかを知ることができました。高所から大槌を見ることができ復興が実感できた。おしゃっちへの展示物を自分たちで考え理解を深めることができて良かった。(2年女子)



前回の写真と比べながら観測し、震災前の時より大きく変わっている場所が多く驚いた。また、町が復興してきているのがわかった。これからも積極的に参加し地域に貢献していきたい。(2年女子)



